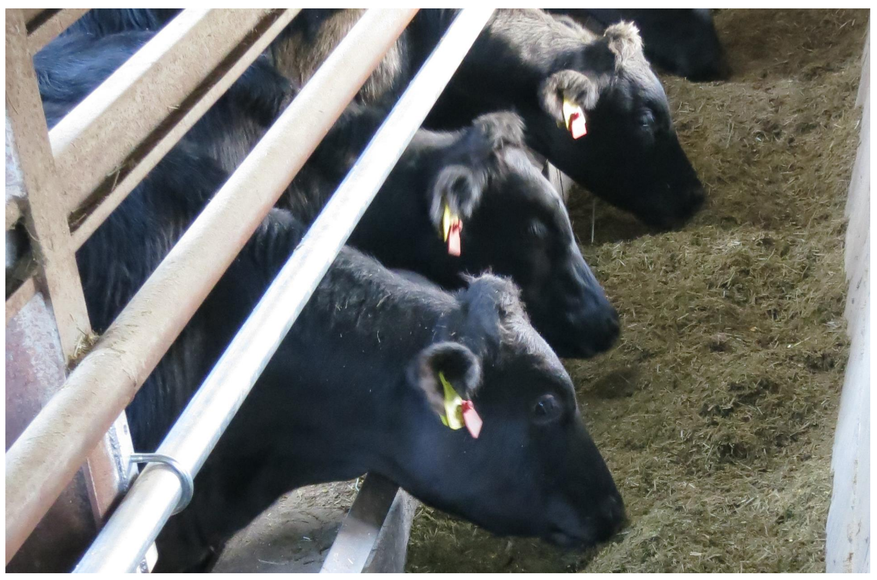
飼料自給率up！生産コストdown！サイレージで肉牛生産

概　要 Abstract

牧草・とうもろこしサイレージは栄養価の高い自給飼料として濃厚飼料削減効果が期待できます。懸念されたβカロテンの脂肪交雑や脂肪色への影響もなく、良好な産肉成績が得られることを明らかにし、サイレージを利用する際の給与マニュアルを作成しました。



サイレージは牧草・とうもろこしを乳酸発酵させた飼料です。

成　果 Results

①濃厚飼料給与量を削減できます。

栄養価の高いサイレージ給与により
濃厚飼料を1.4トン削減

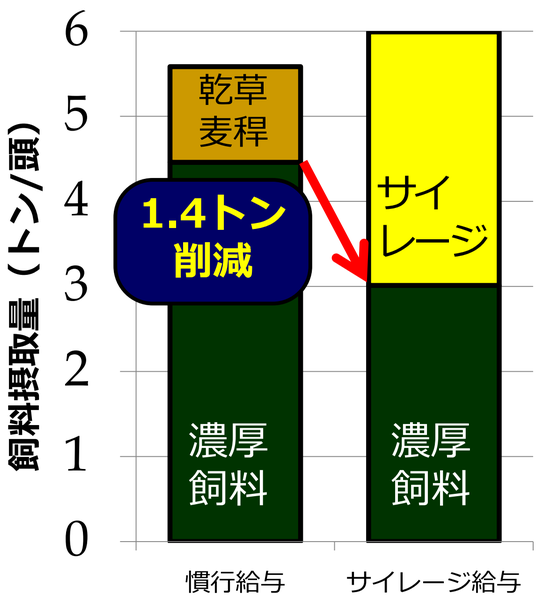


図1　飼料摂取量（黒毛和種）

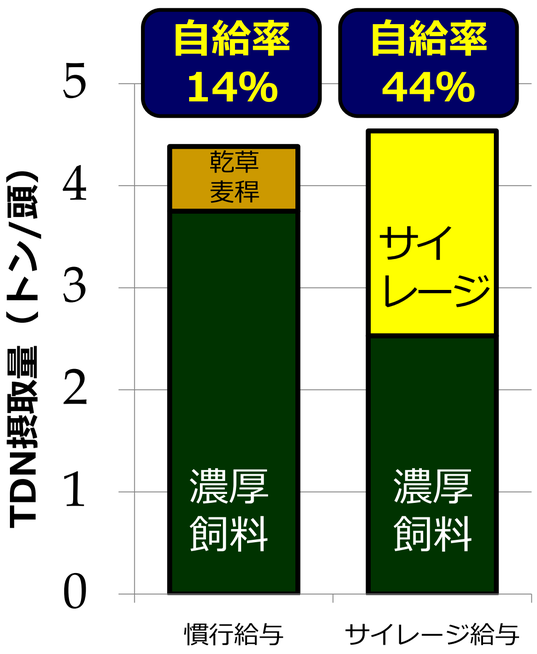


図2　TDN摂取量（黒毛和種）

TDN:可消化養分総量(エネルギーの単位)

②飼料費を削減できます。

飼料コストの低いサイレージ給与により
飼料費を８万円低減

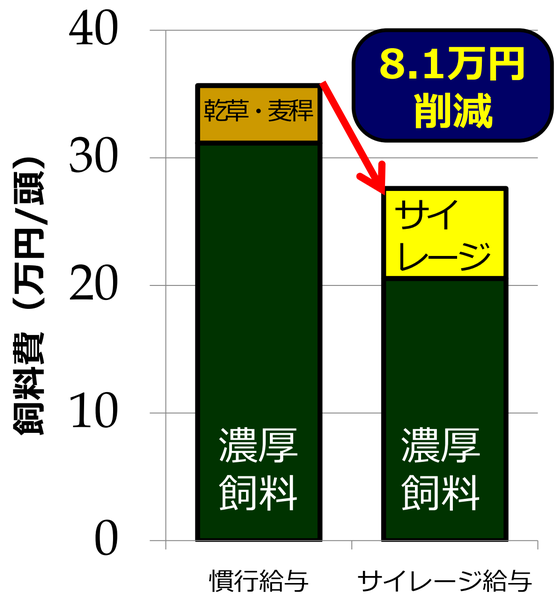


図3　飼料費（黒毛和種）

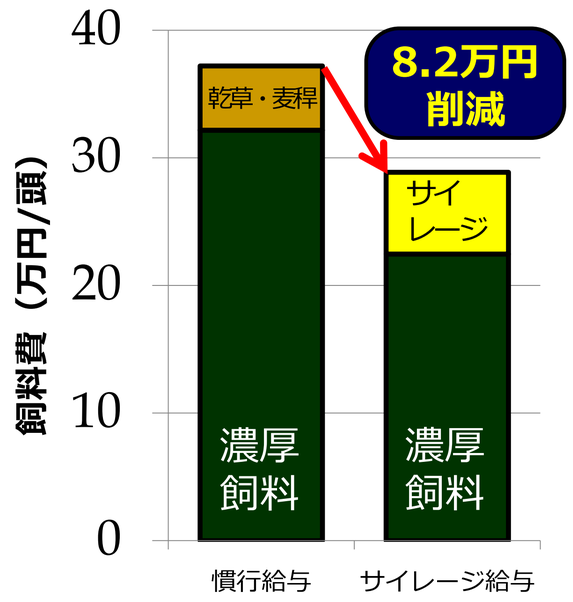


図4　飼料費（交雑種）

交雑種：ﾎﾙｽﾀｲﾝ種（雌）に黒毛和種（雄）を交配

③良好な産肉成績が得られます。

濃厚飼料多給飼養と同等の産肉成績

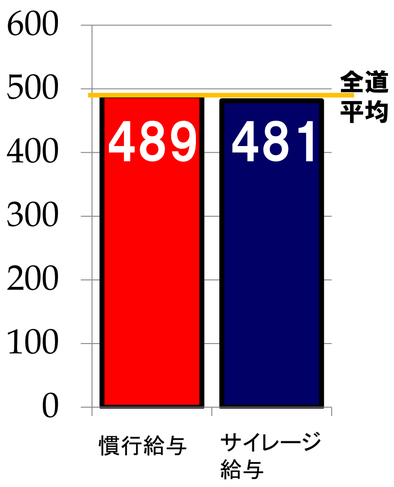


図5　枝肉重量（黒毛和種）

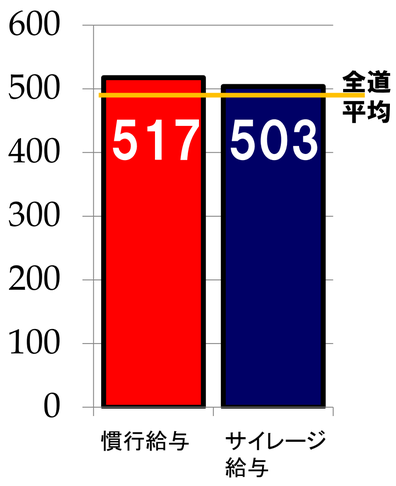
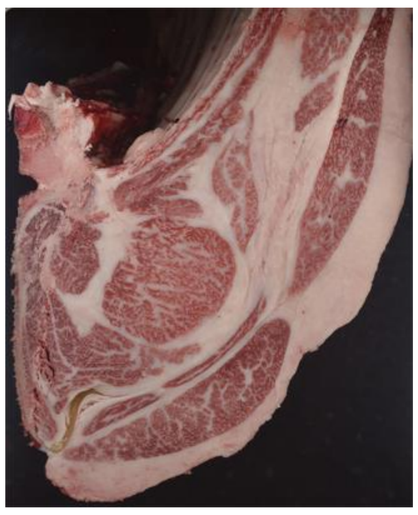


図6　枝肉重量（交雑種）



サイレージ給与牛（黒毛和種）の枝肉
（写真提供：帯広畜産大学口田研究室）

④給与マニュアルを作成しました。

飼料給与量と血液代謝プロファイルの目安

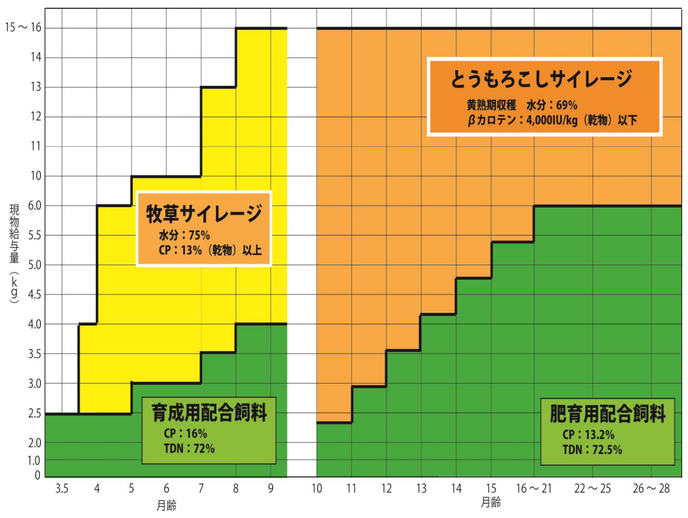


図7　黒毛和種のサイレージ分離給与基準

表1　血液代謝プロファイルの目安

項目	
総コレステロール	肥育開始時100mg/dl 肥育中後期150mg/dl
βカロテン	肥育中後期150μg/dl
ビタミンA	肥育中後期　60IU/dl

血液代謝プロファイルテスト：
血液検査から牛群の栄養状態を評価する方法

普　及 Dissemination

給与マニュアルに沿った牧草・とうもろこしサイレージ給与により、濃厚飼料給与量を減らし飼料自給率を向上させ、飼料費を削減することができます。

連絡先 Contact

畜産試験場
家畜研究部 肉牛グループ
0156-64-0610
kasuya-hirotaka@hro.or.jp